



利用者の皆様へ

休園日
毎週月曜日 ※月曜日祝日の場合は翌日
開園時間
9:00~18:30(4月1日~8月31日)
9:00~17:30(9月1日~3月31日)



植樹祭の木

沖縄県平和創造の森公園は、1993年に第44回全国植樹祭の開催意義である「平和で緑豊かな環境を創り、次の世代へ引き継ぐこと」を目的に、平成10年(1998)4月に開園しました。2018年2月に実施された樹木調査を元に現在の生育状況と樹木の特徴について紹介します。生育数4本

イトバショウ(糸芭蕉)

Musa balbisiana var. *liukuensis*

別名:リュウキュウバショウ

方言名:ウー、バショウ 中国名:野蕉

英名:Plantain

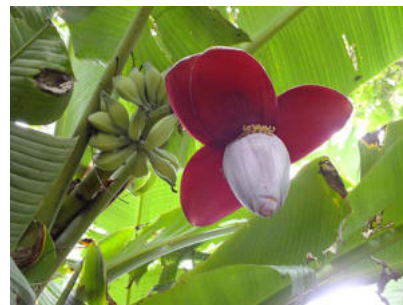
バショウ科 熱帯アジア原産

高さ1.5-3mに成長する多年草。葉は大きく長さ80-150cm、幅20-30cm。先端から赤紫色の苞(ほう)をだし、酸味があっておいしい花は黄色でバナナ状の果実をいくつも付ける。熟すと果皮は黄色くなり果肉は甘酸っぱくなる。ところが種だらけで食用には不向き。でも、熟すと香りがよく甘酸っぱくて美味しい。

花序はハート形の円錐形。調理して食べられるとあるが、かなりエグミがあった記憶がある。若い花と子房を調理して食べるという。

茎の繊維は「芭蕉布」の原料になり、伝統工芸として保存継承されている。ひと昔前までは、催し物のときに葉を食器に茎を建築用(丸い穴をあけるときの茎を使用)として使っていた。

種からよく発芽するので、各地で野生化していて、ときに食用のバナナと交配することがある。交配種シマバナナと同じように酸味があり、完熟すると大変おいしい。また丈夫に育つ。



花序



バナナ



完熟したバナナ



イトバショウの栽培



観賞用の鉢植え



種はオシロイバナにそっくり



発芽した苗

平和創造の森公園

創造の森

2026年2月号

管理事務所 〒901-0352 沖縄県糸満市山城449

TEL(098)852-4033

<https://www.peaceforestpark-obsi.jp/>

指定管理者 沖縄文化スポーツイノベーション株式会社[タピックグループ] 編集・発行:比嘉正一